

新年のご挨拶



課題先進地から課題解決先進地への挑戦

佐渡市長 渡辺 竜五



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大で、本市においても市民の皆さまの暮らしや地域経済に大きな影響を与え、現在もまだ終息が見通せない状況となっています。市としても、感染予防や経済対策を最大限取り組みますので、引き続き、市民の皆さまにおかれましても「新しい生活様式」の実践などの感染予防への協力をお願い申し上げます。

さて、日本全体でも、人口減少が進み、特に地方の疲弊が顕著となつていきます。本市も高齢化率がすでに40%を超え、周部の過疎化や、地域コミュニティの低下など、日本の課題を先行、凝縮する、まさに日本の課題先進地となつていきます。

その大きな課題である人口減少対策については、「子育て支援の強化」、「起業支援と雇用の拡大」、「元気な高齢者が活躍できる環境づくり」の3本の柱を重点に進めていきます。特に今年は、起業支援により多様な人材が活躍できる仕組みの構築と、企業の事業拡大への支援などから雇用を確保することで、生産年齢人口の拡大を図ります。

また、今年には佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた国内推薦の最大のチャンスと捉えています。市民、関係団体の皆さまや新潟県と共に取り組みを進めます。さらに世界農業遺産認定10周年を迎えることから、世界に誇れるトキと共生する豊かな里山を後世へ引き継ぐため、新たに「SDGs未来都市」や「地域循環共生圏」にも挑戦し、課題先進地から課題解決先進地を目指す元年として、市民の皆さまのご協力いただきながら、職員一丸となり取り組みを進めてまいります。

結びに新型コロナウイルス感染症の終息を心から願ひ、市民の皆さまのご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶いたします。

姉妹都市から新年のご挨拶



東京都国分寺市長
井澤 邦夫

明けましておめでとうございます。佐渡市の皆さまにおかれましては、お健やかに佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大という、私たちが経験したことのない事態が起きました。例年佐渡市に出場・出展いただいた「国分寺まつり」も中止となり、交流の機会を持てなかつたことは残念でなりません。

しかし、このような状況の中、本市市報などで佐渡市の特産品をご紹介したところ、市民から多くの反響があり大変うれしく思っております。今年こそ、新型コロナウイルスが収束を迎え、以前のような佐渡市との行き来や交流ができるようになることを願っております。それまでは、感染拡大防止対策を行いながら、両市の交流を推進していくために最大限の努力をしてまいります。

結びに、両市の関係のさらなる発展と貴市の皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。